



ゆっくり ゆっくり

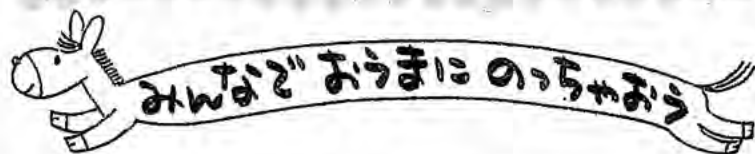
マスク生活からマスクをはずす場面も増えてきて、私たち保育者も時と場合に応じてマスクをしていたり、はずしたりしています。

マスクをしなくてはいけなかった時にも、子どもたちは、マスク越しにでも(保育者は)「笑った顔をしているな、や、「モグモグ食べようね」と口を動かしての声かけでも、表情がわかっているようで、しっかり伝わっているのを感じていました。今年初めてマスクをはずしてDキ見クラスの子どもたち相手にペープサートをすると、いつもに増して子どもたちの笑顔があふれていて、まだペープサートの内容はわからないであろう7月の男の子は、私の表情に合わせて、笑ったり表情をかえていました。

目と目で通じ合い、表情豊かに接することで気持ちも通い合っていくのだと思います。しっかり向き合って心を育てていってあげたいですね。

うまはトシシ

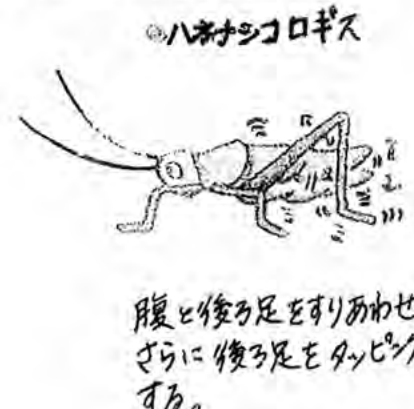
角刈り合ひあそびの紹介です「うまはまん子」と同じ遊び方ですが、最後の「ドシーン」と落とすとのがちがいます。スリルを楽しめます。



うまはととししないてもつよ
うまはつよいから(のりてさん)もつよ ドシーン!
〇〇ちゃんもつよい。

虫の声を聞こう

夏にはさまざまな虫の音が聞かれます。できれば、近くで観察してみましょ。セミは胸で鳴き、腹で共鳴させて大きな音を出しますが、スズムシなどは「鳴く」といっても、羽をこすり合わせて音を出しています。草原でバッタの飛ぶ音を聞いたり、つかまえた虫の出す音も聞いてみましょう。



- ①大人が床に足を伸ばして座り、子どもと向かい合って両手、またはわきの下を支え持ち、大人の足をまたぐようにひざに座らせる。
- ②うたに合わせてひざを動かし、子どもの体を上下に揺らす。
- ③「ドシーン！」のところで両足を開いて、その間に子どものお尻をストンと床に落とす(年齢のちいさいうちは抱えてそっとおろす)。この時「はい、どうどう」とか「バカバカ、ヒーン」などと言う。

